県歌　信濃の国

浅井洌

青空文庫

一

信濃の国は十州に
境連ぬる国にして
聳ゆる山はいや高く
流るる川はいや遠し
松本伊那佐久善光寺
四つの平は肥沃の地
海こそなけれ物さわに
万ず足らわぬ事ぞなき

二

四方に聳ゆる山々は
御嶽乗鞍駒ヶ岳
浅間は殊に活火山
いずれも国の鎮めなり
流れ淀まずゆく水は
北に犀川千曲川
南に木曽川天竜川

これまた国の固(かた)めなり

三

木曽の谷には真木(まき)茂(しげ)り
諏訪(すわ)の湖(うみ)には魚多し
民のかせぎも豊かにて
五穀(ごこく)の実(みの)らぬ里やある
しかのみならず桑とりて
蚕飼(こが)いの業(わざ)の打ちひらけ
細きよすがも軽(かろ)からぬ
国の命(いのち)を繋(つな)ぐなり

四

尋(たず)ねまほしき園原(そのはら)や
旅のやどりの寝覚(ねざめ)の床(とこ)
木曽の桟(かけはし)かけし世も
心してゆけ久米路橋(くめじばし)
くる人多き筑摩(つかま)の湯
月の名にたつ姨捨山(おばすてやま)

しるき名所と風雅士が
詩歌に詠みてぞ伝えたる

五

旭将軍義仲も
仁科の五郎信盛も
春台太宰先生も
象山佐久間先生も
皆此国の人にして
文武の誉たぐいなく
山と聳えて世に仰ぎ
川と流れて名は尽ず

六

吾妻はやとし日本武
嘆き給いし碓氷山
穿つ隧道二十六
夢にも越る汽車の道
みち一筋に学びなば

昔の人にや劣(おと)るべき
古来山河(こらいさんが)の秀(ひい)でたる
国は偉人のある習(なら)い

青空文庫情報

底本：「淺井洌」松本市教育会
1990（平成2）年12月20日発行
※底本には、長野県歌として制定した際、「信濃教育会保存の昭和六年浅井洌直筆のものを基礎とし、用字を一部改めた」とあります。
入力：大野晋
校正：川山隆
2009年12月8日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

県歌　信濃の国

浅井洌

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/